

**中小物流事業者の労働生産性向上事業**  
**(物流施設におけるDX推進実証事業)**

**計画申請事業者様向け**  
**申請書類提出前チェックシート**

物流施設におけるDX推進事務局  
2026年4月

# 1. 様式間の整合性確認

# 金額の整合性確認

✓各様式の **事業費** **補助金申請額** が整合しているか？

## A 様式 1

事業申請書

中小物流事業者の労働生産性向上事業（物流施設におけるDX推進実証事業）公募要領（以下「公募要領」という。）II.申請事業者に係る公募の申請手続きに基づき、上記事業に係る補助金の公募について下記のとおり申請します。

記

- 間接補助事業の目的及び内容  
様式2 物流DX推進実証計画書及び様式2別紙のとおり
- 間接補助事業の開始及び完了予定日 令和8年6月26日 ~ 令和9年2月28日
- 間接補助事業に要する経費 10,000,000円(税抜)
- 補助対象経費 10,000,000円(税抜)
- 補助金交付申請額 5,000,000円(税抜)

## B 様式 2 別紙

事業者名	〇〇株式会社	
会社情報	資本金	従業員数
	X,XXX万円	YYYY人
拠点数	〇〇県にXか所、△△県にYか所、全国にZか所	
施設名	☆☆センター	
所在地	〇〇県△△市●町X-XX-XXX	
委託先	システム構築・連携	自動化・機械化機器
	XXXシステム株式会社	YYY工業株式会社
事業費(税法)	600万円	400万円
補助金申請額(税法)	300万円	200万円

## C 様式 3

経費内訳

(単位:円) ※税法で統一して記載

補助対象経費の区分 <sup>※1</sup> と内訳 <sup>※2</sup>		間接補助事業に要する経費 <sup>※3</sup>	補助対象経費 <sup>※4</sup>	補助率	補助金の額(交付申請額)
①システム構築・連携	業務費	2,000,000	2,000,000	30%	600,000
	設備費	2,000,000	2,000,000		600,000
	事務費	2,000,000	2,000,000		600,000
	計	6,000,000	6,000,000		3,000,000
②自動化・機械化機器導入	業務費	1,000,000	1,000,000	50%	500,000
	設備費	2,000,000	2,000,000		1,000,000
	事務費	2,000,000	2,000,000		1,000,000
	計	4,000,000	4,000,000		2,000,000
合計		10,000,000	10,000,000		5,000,000

## D 採用する見積書の総額

1,000万円



# スケジュールの整合性確認

✓各様式の **事業期間** **実施期間** **事前期間** が整合しているか？

## A 様式 1

事業申請書

中小物流事業者の労働生産性向上事業（物流施設におけるDX推進実証事業）公募要領（以下「公募要領」という。）II.申請事業者に係る公募の申請手続きに基づき、上記事業に係る補助金の公募について下記のとおり申請します。

記

1. 間接補助事業の目的及び内容

様式2 物流DX推進実証計画書及び様式2別紙のとおり

2. 間接補助事業の開始及び完了予定日 **令和8年6月26日 ~ 令和9年2月28日**

3. 間接補助事業に要する経費 10,000,000円 (税抜)

4. 補助対象経費 10,000,000円 (税抜)

5. 補助金交付申請額 5,000,000円 (税抜)

## B 様式 2 別紙 > サマリ

計画概要	事業期間	令和8年6月26日～令和9年2月28日
	計画概要	XXXXXXXX

## C 様式 2

事業実施のスケジュール

\*「事業の内容」に記載した内容に関するスケジュールを記載する

・事前調査：令和8年4月～令和8年5月

・計画策定：令和8年4月～令和8年6月

・見積取得：令和8年5月～令和8年6月

・事業実施

① システム構築・連携：令和8年6月～令和9年1月

② 自動化・機械化機器導入：令和8年6月～令和9年1月

## D 様式 2 別紙 > 事業スケジュール

		R8年度						
		4月	5月	6月	7月～12月	1月	2月	3月
1	事前調査	→						
2	計画策定	→						
3	見積取得		→					
4	実施	→						
	システム 機器	→						
5	効果検証						→	
6	完了実績報告							→

## 2.各様式の確認ポイント

# 様式1の確認ポイント

(様式第1) ←

令和8年5月〇〇日 ←

←  
物流施設におけるDX推進事務局 ←  
←  
←

氏名 法人にあっては名称 〇〇株式会社 ←  
及び代表者名 物流太郎 ←

←  
←  
←  
←  
←

## 事業申請書 ←

中小物流事業者の労働生産性向上事業（物流施設におけるDX推進実証事業）公募要領（以下「公募要領」という。）II.申請事業者に係る公募の申請手続きに基づき、上記事業に係る補助金の公募について下記のとおり申請します。 ←

1. 間接補助事業の目的及び内容 ←

様式2 物流DX推進実証計画書及び様式2-1

✓ 令和8年6月26日～令和9年2月28日まで  
(この期間内になっているか)

2. 間接補助事業の開始及び完了予定日

令和8年6月26日 ~ 令和9年2月28日 ←

3. 間接補助事業に要する経費

10,000,000円 ←

✓ 見積書の金額と整合しているか

4. 補助対象経費

10,000,000円 (税抜) ←

✓ 1/2以下になっているか

5. 補助金交付申請額

5,000,000円 (税抜) ←

## 様式2の確認ポイント

事業実施の スケジュール	<p>※「事業の内容」に記載した内容に関するスケジュールを記載する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 事前調査：令和8年4月～令和8年5月</li><li>・ 計画策定：令和8年4月～令和8年6月</li><li>・ 見積取得：令和8年5月～令和8年6月</li><li>・ 事業実施</li></ul> <p>① システム構築・連携：令和8年6月～令和9年1月</p> <p>② 自動化・機械化機器導入：令和8年6月～令和9年1月</p>
-----------------	---

✓下記の事業実施以前の月になっているか

✓令和8年6月～令和9年1月まで  
(この期間内になっているか)

# 様式3の確認ポイント

適用されない場合

適用される場合

- ✓税抜額になっているか
- ✓合計額が合っているか
- ✓見積書の金額と一致しているか

- ✓税抜額になっているか
- ✓補助対象経費の2分の1以下になっているか
- ✓補助上限額を超過する場合は上限額\*を記載

①システム：2,000万円

②機器：3,000万円

(様式第3) ←

←

経費内訳 ←

(単位：円) ※税抜で統一して記載 ←

補助対象経費の区分*1と内訳*2 ←		間接補助事業に要する経費*3 ←	補助対象経費*4 ←	補助率 ←	補助金の額 (交付申請額) ←
①システム構築・連携 ← 在庫管理システム構築 ←	業務費 ←	2,000,000 ←	2,000,000 ←	1/2以下	←
	設備費 ←	2,000,000 ←	2,000,000 ←		←
	事務費 ←	2,000,000 ←	2,000,000 ←		←
	計 ←	6,000,000 ←	6,000,000 ←		3,000,000 ←
②自動化・機械化機器導入 ← 自立走行型搬送・AIピッキング ロボットの導入	業務費 ←	1,000,000 ←	1,000,000 ←	1/2以下	←
	設備費 ←	2,000,000 ←	2,000,000 ←		←
	事務費 ←	2,000,000 ←	2,000,000 ←		←
	計 ←	4,000,000 ←	4,000,000 ←		2,000,000 ←
合計 ←		10,000,000 ←	10,000,000 ←		5,000,000 ←

1/2以下

※システム（補助上限額：2,000万円）と機器（補助上限額：3,000万円）を合わせた5,000万円が原則としての補助上限額となる。ただし、申請時と比較して、事業場内の最低賃金を3%以上又は45円以上増加させることを補助事業期間終了時点で達成する見込みの事業計画を策定した事業者の補助上限は、1社あたり①2,200万円、②3,300万円とする

# 様式3の確認ポイント

適用されない場合

適用される場合

- ✓税抜額になっているか
- ✓合計額が合っているか
- ✓見積書の金額と一致しているか

- ✓税抜額になっているか
- ✓補助対象経費の2分の1以下になっているか
- ✓補助上限額を超過する場合は上限額\*を記載
  - ①システム：2,200万円
  - ②機器：3,300万円
- ✓①②それぞれ及び合計が補助対象経費の1/2以下になっているか（再確認）

(様式第3) ←

←

補助対象経費の区分*1と内訳*2		間接補助事業に要する経費*3	補助対象経費*4	補助率	補助金の額 (交付申請額)
①システム構築・連携 在庫管理システム構築	業務費	20,000,000	20,000,000	←	←
	設備費	20,000,000	20,000,000	←	←
	事務費	2,000,000	2,000,000	←	←
	計	44,000,000	44,000,000	1/2	22,000,000
②自動化・機械化機器導入 自立走行型搬送・AIピッキングロボットの導入	業務費	40,000,000	40,000,000	←	←
	設備費	20,000,000	20,000,000	1/2以下	←
	事務費	6,000,000	6,000,000	←	←
	計	66,000,000	66,000,000	1/2	33,000,000
合計		110,000,000	110,000,000	1/2	55,000,000

1/2以下

\*システム（補助上限額：2,000万円）と機器（補助上限額：3,000万円）を合わせた5,000万円が原則としての補助上限額となる。ただし、申請時と比較して、事業場内の最低賃金を3%以上又は45円以上増加させることを補助事業期間終了時点で達成する見込みの事業計画を策定した事業者の補助上限は、1社あたり①2,200万円、②3,300万円とする

# 様式2別紙 > サマリの確認ポイント

- ✓ 税抜額になっているか
- ✓ 補助金申請額は事業費の2分の1以下になっているか
- ✓ 補助上限額を超過する場合は上限額※を記載
- ✓ システム・機器それぞれが補助対象経費の2分の1以下になっているか（再確認）

令和8年6月26日～令和9年2月28日まで  
(この期間内になっているか)

事業者名	〇〇株式会社		計画概要	事業期間	令和8年6月26日～令和9年2月28日	
会社情報	資本金	従業員数		効果検証	計画概要	XXXXXXXX
	X,XXX万円	YYYY人				
拠点数	〇〇県にXか所、△△県にYか所、全国にZか所					
施設名	☆☆センター					
所在地	〇〇県△△市●町X-XX-XXX					
	システム構築・連携	自動化・機械化機器				
委託先	XXXシステム株式会社	YYY工業株式会社	効果検証	物流DXの効果検証方法	XXXXXXXX	
事業費	600万円	400万円				
補助金(税抜)	300万円	200万円				
事業概要	物流DXを実施する背景	XXXXXXXX	今後の展望	DX施策(継続性・展開性)	XXXXXXXX	
	期待される効果 ※定量・定性双方の内容が記載されていることが望ましい。	XXXXXXXX		人材に関する施策	XXXXXXXX	
				地域活性化に資する施策	XXXXXXXX	

※システム（補助上限額：2,000万円）と機器（補助上限額：3,000万円）を合わせた5,000万円が原則としての補助上限額となる。ただし、申請時と比較して、事業場内の最低賃金を3%以上又は45円以上増加させることを補助事業期間終了時点で達成する見込みの事業計画を策定した事業者の補助上限は、1社あたり①2,200万円、②3,300万円とする。ただし、補助上限を引き上げた場合でも補助率は1/2以下とする。

## 様式2別紙 > 事業スケジュールの確認ポイント

		R8年度							
		4月	5月	6月	7月～12月	1月	2月	3月	
1	事前調査	▶							
2	計画策定	▶							
3	見積取得		▶						
4	実施	システム	▶						
		機器	▶						
5	効果検証						▶		
6	完了実績報告							▶	

✓ 事業期間以前になっているか

✓ 令和8年6月26日～令和9年2月28日まで  
(この期間内になっているか)

✓ 2月末以前になっているか

✓ 完了実績報告も原則として2月末までに実施